

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
1	開校時期	開校をめざす時期が年々延期となっている。 (当初は令和10年4月、実施計画は令和11年4月、今回は令和12年4月) 開校時期が遅れるほど、建設コストが上昇し、校舎の中身も悪くなる。 また開校時期が延びるほど、住民の意見は厳しくなり、市民の不安も増していく。 開校時期は守っていただきたい。	ご意見は重々に認識した。 令和12年4月開校を前提として、事業を進めていく。
2	開校時期	開校時期が1年遅ければ、何億も増額とあることを認識して欲しい。	
3	開校時期	開校時期が今後延期することはないのか。 延期するという説明だけでは、納得ができない。	教育委員会としては、令和12年4月開校を実現するという強い思いである。 不測事態が発生する可能性もあるが、安易に延期の繰り返しはできないと認識している。
4	開校時期	保護者はいつ学校ができるのか切実な思いを持っている。 家のことや兄弟姉妹、様々な問題を抱えている。	対象となるお子さんを持つ家庭では、計画が狂うことになってしまい、大変申し訳ない。
5	開校時期	DB方式の事業者選定段階で応募者がいない場合、再延期が懸念される。	安易に開校時期を遅らせるべきでないと考えているが、先行統合という方法も考えられる。
6	児童・生徒数	資料P2の児童・生徒数の将来推計の算出方法は。	令和6年4月1日時点の年齢別住民基本台帳から、各校区の附属小・中学校等への進学率より算出した人数を差し引いて算出している。
7	児童・生徒数	指定校区外の学校に通う児童・生徒数は把握しているのか。	留守家庭による指定校変更の人数は把握している。 この場で各地区の人数に触れるのは差し控える。
8	児童・生徒数	現在35人学級だが、まだまだ多い。建設費を挙げても、少人数学級を前提として学級数を増やして欲しい。	学級規模については、国・県の基準に合わせる。
9	施設	新校舎は何階建てを想定しているのか。諸室は全て入るのか。 既存のグラウンドを全て使うような大きさの校舎なのか。	4階建ての予定である。 廊下の両側に教室を配置し、廊下を多目的に利用できるよう、廊下幅を広くとることを考えているため、諸室は全て入る。 新校舎は既存のグラウンド全てとまでは予定していない。資料P5の配置イメージ図はあくまでも現段階の案であり、設計者の提案により変更の可能性がある。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
10	施設	駅前開発により、駅周辺の人口増加が予想される。将来的な人口増を見据えて、教室数を確保すべきではないか。	多目的室等を普通教室に転用できるように、設計時に柔軟に対応できる設計を検討する。
11	施設	東部小学校の現在の正門はなくなるのか。	設計段階で正式に決定するが、通行できなくなるとは確定していない。通用門を設けることも検討する。
12	施設	駐輪場130台の根拠は。	市内中学校の自転車通学の状況を参考に算出している。
13	施設	駐輪場の場所はどの辺りか。	現時点では未定である。
14	建設地	北側敷地が歪な形をしている。用地買収の予定はあるのか。	現時点で用地買収は考えていない。
15	仮設グラウンド	仮設グラウンドの整備により、庭園用地にあるイチョウの木は伐採するのか。	樹木を移植する方法もある。記念石碑等のメモリアル的な物をどうするか今後検討していく。
16	仮設グラウンド	仮設グラウンドで庭園が解体となるが、庭園西側には桜があり、一帯の樹木は残していただきたい。緑が学校に全くないというのは学校として変だと思う。またシンボルツリーは残して欲しい。	
17	仮設グラウンド	かつて花見の時期に開放していたことがある。イチョウの木が東部小学校の開校当初からのシンボルツリーである。安易に伐採するのは困る。	
18	仮設グラウンド	仮設グラウンドが狭いように感じるが、体育や運動会はどうするのか。	建設中の体育授業は、既存体育館を併用しながらになる。運動会は仮設グラウンドでは困難と認識しており、別の場所を検討していく。
19	工事計画	工事車両はどこに停車するのか。	事業者が決定してから、決めていくことになる。
20	工事計画	解体時の騒音や振動には十分にご配慮いただきたい。	騒音等の配慮は十分に行っていく。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
21	工事計画	既存校舎の解体作業を長期休暇期間中にできないのか。授業中に解体工事の騒音が与える影響が懸念される。	解体期間について、事業者選考時に業者に短縮できないか等の提案を求める。 要求水準書作成に向けて、参考とさせていただく。子どもたちの負担が少なくなる方法を今後検討する。
22	事業費	建設事業費の財源はどのように確保するのか。	国庫補助や起債を活用し、支出を抑えていく。起債は交付税算定も考慮しながら、最も有利となるよう選択していく。
23	学校教育	小中一貫教育による質の高い教育というが、少子化に伴うコスト効率化の内容がメインのように感じた。新しい学校での教育カリキュラムはいつ頃に決まるのか。	中一貫校の整備は9年間の系統性と連続性の実現が目的であるが、教科担任制や子どもの振り返りに応じた学び、協働的な学びによって教育の質を維持していく。子ども一人一人に複数の教員が向き合う体制の構築を進めていく。 子どもの減少に伴い、学校内で社会性の経験を積む重要性が増している。異学年交流などにより、他学年と接することができる小中一貫校の良さを発揮したい。 カリキュラムに関しても、令和7年度から開校準備委員会（プロジェクトチーム）を発足し、検討していく。
24	学校教育	小規模校では先生が目も行き届きやすく、先生も親身に対応していただき、子どもの成績も向上した。	小規模校の良さもあるとは認識している。一方で、少子化により単独で学校が成り立たなくなっている。
25	学校教育	年齢差のある子どもが同じ空間にいることにデメリットを感じる。かつては東部中学校が荒れていた時代もあったため、中学生と小学生が同じ空間で過ごすことに危険性を感じる。	年齢差の影響を心配する声は他からもいただいている。発達段階に応じた生徒指導、交流活動を行うが、高学年の責任感を高めていけるような交流活動を行っていききたい。先行事例の視察を行っており、低学年から高学年への感謝、高学年の責任感が生まれたとのメリットも聞いている。 どのような交流活動を行うか、教育計画をたてる段階で具体的に検討する。新校舎には多目的室やサブアリーナを設け、交流活動の場としていきたい。
26	学校教育	再編新校に通う児童・生徒と市内の他の学校では、授業の進捗やカリキュラムに違いはあるのか。	学習指導要領の基準に従うため、大きな違いはない。ただし、小中一貫校では異学年交流の拡大、教科担任制の拡大の余地がある。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
27	通学	再編新校の校区は綾川土手（東端）から坂出中学校（西端）に広範囲に渡る。子どもの通学に関してどこまで考えているのか。	<p>昨年の実施計画説明会の際に、福江地区の井戸の道の幅員が狭いこと、西庄地区からは遠い場所からの通学に対する不安の声をいただいている。</p> <p>詳細は先で検討となるが、アンケート調査や通学路の交通量調査、通学手段の検討（バス・タクシー・電車）を令和6年度に実施している。</p>
28	通学	通学路の問題への対策が進んでいるのか不安である。	
29	通学	昨年の説明会で、通学路に関しては通学時間と交通量を調査予定との回答だった。しかし、現在も検討中とのことだが、先に答えを出すべきではないか。	<p>坂出小学校の時のように、諸課題に関しては再編のための準備委員会での検討を予定しており、令和7年度から開催していく。令和6年度はその準備期間としてアンケートや交通量調査を行っている。</p> <p>意見の趣旨はもっと早くできるのではないかとということで理解した。</p>
30	通学	通学時の送迎対策、自転車と歩行者の動線が交差することによる安全対策はどのように考えているのか。	資料P5の配置イメージ図より、南北の通路により動線はある程度整理できると考えるが、今後検討は続けていく。
31	通学	自転車登校が許される学年は。	現在、東部中学校では自転車通学を認めていないため、部活動が東部中学校だけで実施できなくなることを見越し、今後検討していく。
32	通学	保護者の送迎時に渋滞しないか気がかりである。	渋滞への対応は今後の検討課題と認識している。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
33	プール	<p>学校内にプールを建設しないのは反対である。                      プールを作らないことで、泳げなくなる子どもが出てきてしまう。校外で水泳授業を行う場合、他の施設に移動手段はどうするのか。移動時間が勿体ない。                      サブアリーナを作るくらいなら、プールを作るべきである。</p>	<p>水泳授業が学習指導要領に記載されていることは、当然、把握している。小学校では体育授業は年105時間、そのうち、水泳授業に充てるのは10%程度。坂出では18時間と決めているが、実際は天候の関係もあり15時間である。利用期間が短い上に管理負担、コストが過大なプールを維持していくのかという問題である。                      水泳授業を検討していないのでは決していない。民間委託には、専門的インストラクターによる授業や施設管理の適正化などメリットもある。水質管理等、衛生面や天候や、季節の寒暖にも左右されない。夏場の屋外の暑さは、子どもにとって危険な域に達しており、今はプールに水筒を持ち込むなど配慮しながらプール授業を進めている。教員の負担も無視できない。                      検討課題としては校外のプールまでの移動手段。時間、コスト面で十分な検討を行っていく。                      資料P3の市内公共施設とは、角山温水プール、金山小、西庄小の既存プールを指している。</p>
34	学校跡地	再編後の校舎の跡地はどのように考えているのか。	跡地利用は今後の検討課題と捉えている。
35	防災	校区内には消防団が東部分団、西部分団と混在している。現在の組織が崩れないようにしてほしい。	教育委員会から回答できる内容ではないため、ご意見は消防にも共有し、検討していく。
36	防災	再編新校が指定避難所となる場合、想定収用人数は何人か。	現時点で新校舎の想定収容人数は不明だが、東部小学校の指定緊急避難場所の想定収容人数は現在3,076人である。現状の収容人数以上を確保できるようにする方針である。
37	防災	体育館は災害時の避難場所として使用することになっているが、新校舎でも同様か。	工事計画にもあるが、既存体育館を残したまま新体育館を建設し、その後、既存体育館を解体する。避難所については危機管理課と協議していくが、現時点では避難所となることを想定している。
38	今後の予定	今後の説明会の予定は。自治会に出向いて周知するのか。	<p>次回の説明会は決まっていない。                      昨年は地区ごと開催だったが、保護者からの要望を受け、今回は合同説明会とした。                      周知について、市HP、回覧、広報などで情報発信を行う。</p>
39	今後の予定	保護者向けの説明会の開催予定はあるのか。 地域住民と保護者では、別の不安や心配事がある	保護者向け説明会について、開催の方向で検討する。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
40	児童のケア	西庄小学校の児童数より、どのように再編までにケアしていくのか。	西庄小、金山小においては、低学年は1クラスを維持するのが困難になっており、その解決のためにも学校再編の必要性があると感じている。 現状の対応として。低学年の人数が少ないため、学校間で交流することを検討する。
41	児童のケア	東部小、金山小、西庄小の3校の交流活動は現在行われているのか。開校に向けて、児童が事前に交流できる場を確保して欲しい。	安易に開校時期を遅らせるべきでないと考えているが、先行統合という手法もある。
42	スポ少	スポ少が他の場所に移動しなければならない場合が気かりだ。	スポーツ少年団については、関係者から今後情報を集めていく。
43	制服	制服はどうなるのか。	制服については、令和7年4月より中学校は市内共通化する。 保護者の反応を見ながら検討していく。
44	再編しない	検討課題がたくさんあるのに、なぜ再編する必要があるのか。 狭い敷地に無理やり学校を建設する。 再編の必要性を感じない。再編をしないという考えはないのか。	本日の会は、建設基本計画の説明が趣旨である。 教育委員会としては、令和3年から学校再編整備検討委員会を設立して以降これまで議論を重ね、関係団体、地域住民、保護者等の関係者への説明会を経て、前期計画として小学校3校、中学校1校で再編していくことの承認を得ている。これまで議会でも議論しながら、ステップを経て決定してきている。今の時点で、再編の方針を再検討する予定はない。 再編の理由は、全ての学校で少子化により児童・生徒数が激減し、学級や学校運営が成り立たなくなっていること。近年は市内における子どもの出生数が250人を下回っていること。体育やクラブ活動は学校ごとに実施するのが難しくなっていること。校舎が老朽化し、改築の時期を迎えていることなどがある。またPTAからも適正規模の学校で教育を受けさせたいという声が挙がっており、再編整備検討の出発点となった。
45	再編しない	再編により通学距離が長くなり、また通学路の交通量も多く、子どもたちが危険に晒されるくらいなら、学校再編に反対である。（意見）	
46	その他	学校再編に反対派の市長候補が出た場合、今後この事業をどのように進めていくのか。	教育委員会としては、学校再編を進めていく。

## 質疑応答一覧

No.	カテゴリー	質疑・意見	回答
47	その他	令和4年度に東かがわ市の白鳥小中学校に視察に行っているようだが、そこで得るものはあったか。	児童・生徒数の減少に伴い、空き教室が発生し、当初の計画規模より小さくする必要があるとのことである。 実施計画時点では、児童・生徒数が増えることも想定していたが、東かがわ市を参考にして、児童・生徒数の推計方法を今回見直している。
48	その他	小中一貫校を進めるにあたって、アドバイザーを入れる予定は。小中一貫校のメリットについて、ソフト面での具体性がない。数字データや専門家からの知見をいただきたい。 小中間で連携が上手くいかず、学力低下の可能性がある。専門家の知見やデータなどで「見える化」していただければ、安心ができる。	ソフト面でのアドバイザー契約について、現時点で予定していない。
49	その他	改修と新築を市ではそのように線引きしているのか。	校舎は築40年以上を経過し、校舎の老朽化が深刻となっている。 令和4年度に答申を受け、施設一体型の小中一貫校として再編新校を建設こととなった。
50	その他	自分自身が大規模校に通った経験から、人数の多い学校では、色々な人、立場や考えが異なる人と触れ合う良さがある。これは小規模校では経験できない。(意見)	
51	その他	坂出小学校を統合した後、どうだったかを参考にして欲しい。アンケート調査をしてはどうか。 運動場を芝生にするかどうか、気になる。	事業者からの提案を受け、検討していく。